

# 「再編・統合の再編化」を求められた424病院

厚生省「地域医療構想に関するワーキンググループ資料」



# 公立公的病院の統廃合・再編ではなく



# 市民が安心して受けられる医療を

### 病院の再編・統合についてどう思うか

吉田議員

厚生労働省は団塊の世代が75歳以上となる2025年度に向けて、医療費を抑制するために、全国の公立・公的医療機関424病院の削減・統廃合再検証リストを公表した。その一つに済生会中和病院の名前があげられている。

松井市長は、病院の再編・統合について、どのような見解をもっているのか。

### 5病院の1つに済生会中和病院も



済生会中和病院HPより

### 統合・再編ありきの議論はない

松井市長

済生会中和病院は地域住民の医療のよりどころの一つとなっていることから、統合・再編のありきの議論はあってはならないと考えている。今後、国や県との連携を密にしながらい医療機能や病院同士の見直しなど、幅広く検討していくことが必要である。

## 地域医療を守る責任がある国にリスト撤回要望を

吉田議員

済生会病院は地域の医療機関から紹介された患者への医療提供をおこなうなど、地域医療連携で重要な役割を

### 令和2年度 予算特別委員会での吉田議員の質問概要

②

#### 国保税（料）の18歳以下の均等割り廃止提案への見解

急速にすすむ少子高齢化のなかで、医療や福祉制度の利用対象者は増加していると考える。しかし、この10年



### 済生会中和病院をなくさないで

間をみても、扶助費（福祉にかかる費用）は伸び悩んでいる。私は、若者が桜井市で子育てをしたくなるような独自施策、たとえば18歳以下の子ども均等割りの廃止などの提案をしているが、市長の見解を聞きたい。

### 令和2年度一般会計予算に反対討論（要旨）

ふれあいセンター費は教育費に  
ふれあいセンター費は教育費に  
民生費の人権施策推進費にふれあいセンター費があります。ふれあ

4月6日、市民団体のみなさんと一緒に「済生会中和病院をなくさないで」と申し入れし、松井市長（写真右）と懇談する吉田ただお議員（写真中央）

### 市長会を通じて地域をあげていきたい

松井市長

済生会中和病院や宇陀市立病院と連携して医療や介護などにおいて、地域会議を通じて地域完結型の体制に転換できるよう議論をすすめることが重要と考える。

強化をはかりたい。  
均等割は、世帯全員が負担し、赤ちゃんにも年間3万2千円の国保税がかかります。



市内に3つあるうちの1つ桜井東ふれあいセンター（桜井市HPから）

いセンターは、これまでの解放会館や人権文化センター、人権ふれあいセンターと違い、現在は地域を超えて広く開かれたものとして利用されています。以上の理由で、ふれあいセンター費については、一般行政施設として教育費に入れるべきです。

## 生活相談はどこへ

桜井市市議会議員吉田ただお事務所  
桜井市栗殿588-7  
電話・FAX

# 46-4930

必ず、電話してからお越し下さい

この調整会議には済生会病院の病院長が委員として参画されており、病院長を通じて地域で必要な医療について議論をしていただくとともに、私も奈良県市長会を通じて地域の声をあげていきたい。